



竹林救援隊の拠点となる場所で作業。イベント「ミニ門松づくり体験」の準備などを行った。

# Circle

サークル  
紹介

放置竹林を荒廃から守る  
**NPO法人  
竹林救援隊**

### 竹林整備で地域を守る

近年、全国で手入れが行き届かずに放置された竹林が荒廃し、森林の生育や生活環境へ影響が心配されています。

そこで2003年、「NPO法人 竹林救援隊」が設立され、「放置竹林を荒廃から守る」をスローガンに、各務原市を中心とした竹林里山の環境保全、伐採した竹の利活用などが行われています。

活動は週に2回。イベント日なども含め、年間100日ほどの活動をしています。メインとなっている竹林整備は各務原市の公園や民有地の竹林32箇所を手がけており、竹林の間伐、下草狩りなどを定期的に行っています。

伐採した竹は竹炭にしたり、花器やおもちゃなどの竹製品を手作りし、イベントで活用するほか、竹製品の販売を行い、活動費に充てています。



10年間、300回ほど使用した炭窯。竹炭の販売もしている。



地域イベントの様子。竹の遊ぶ子どもたちは大喜び！



薪竹の処理が格段にアップしたチッパ―機粉砕機。竹チップができる。



イベントで使用する竹馬や竹ほつくりも手作り。

竹炭を作る炭窯も手作り。ドラム缶4本を地中に埋めた炭窯は良質な竹炭、竹酢液を作ることができ、さまざまところで活用しています。

「活動は安全第一」と、理事長の小川泰鉄さん。竹林整備は体力も必要とするため、その日の活動前に注意事項をしっかりと伝え、ラジオ体操で準備運動をしてから作業にとりかかります。作業中も声を掛け合いながら丁寧に進めています。

### イベント参画や地域の方との活動も

竹林整備のほかに「ミニ門松作り講習会」や「竹炭焼き講習会」などのイベントの主催、また、地域のイベントに参画し、たけのこ掘り体験や子どもに向けた竹遊びなどを通じて、気軽に地域の方が竹に親しむ機会をつくっています。これらのイベントを通じて、里

山・竹林の保全、環境保全の啓発も行い、竹の性質や活用方法、身近な自然環境について多くの人に知ってもらうことも大切にしていきます。

竹林救援隊の活動が理解され、地域の方の協力や時には一緒に活動しながら、地域全体で竹林を守る取り組みが広がっています。

今年は各務原市水土地改良区のみなさんと共に、用水路、のり面の竹林整備に汗を流しました。

事務局長の神谷広志さんは「自然の中で体を動かすことと、竹林整備が社会貢献になっていることに喜びを感じる」ことが、メンバーのみなさんが活動を続けている理由だと教えてくれました。別々の職業を経験してきたメンバーがそれぞれの特技を生かし、会話にいろいろなジャンルの話題があがることも楽しいとのこと。メンバー自身が竹に親しみながら、精力的に活動しています。

### NPO法人 竹林救援隊

問/Tel.090-2137-3746(事務局)  
e-mail/kami8hiro4@dream.bbexcite.jp  
ホームページ/  
<https://www.sophia.gr.jp/~chikurin/>  
活動日/毎週月・金曜日(土曜日の活動もあり)